

ラトックシステム RATO SYSTEMS の HDD ケース RS-EC32-U3R シリーズ

ケース単体で RAID0、RAID1 の構築もできている便利なケース。

RAID1 で障害発生したときに対応

ホットスワップも可能だが、基本的に RATO RAID 監視マネージャを使う方がわかりやすい。
ディスク交換したら、RATO RAID 監視マネージャで状況を確認し、マスターを正常なディスクに設定し、リビルドを実行する

ケースに異常がある場合の対応

新しいケースを購入するか RAID 情報をクリアしたケースを用意して、
HDD1、HDD2 の順番をそのまま新しいケースに付け替える。
そのまま電源をいれれば RAID 情報を維持したまま使えるようになる。

注意

■ RAID1 の場合、ケースに HDD の情報が記憶されているっぽい

ケースが異常なのか、HDD が異常なのかわからないときに、うかつに他のケースに HDD を入れると HDD の情報がおかしくなることがあるっぽい。

ケース側に HDD の情報が記憶されており、想定通りの HDD が接続されないと誤作動を起こすようだ。

ケースの RAID 情報をクリアするツールが提供されている。

<https://www.ratocsystems.com/services/driver/usb30/raidmodeclear.html>